

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課

担当名: 企画・支援担当

内線: 2290

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	オープンデータ化推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし	宣言項目			分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業の概要 オープンデータの活用を促進するため、行政情報におけるニーズを把握するとともに庁内で保有している行政情報のオープンデータ化を推進する。 また、公開場所の一元化や様式の統一等を実施することで、新たな価値を創造し、地域経済の活性化や県民生活の利便性の向上を図る。 本事業では、効果的で効率的なオープンデータの活用促進を実現するために、データカタログ(一元化システム)を運用し、オープンデータ化を推進していく。 (1) データカタログの運用 Δ2,270千円 データカタログ保守費用の執行が見込みを下回ったことに伴う減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア データカタログの運用 5,657千円 データ一覧表示機能、検索機能などの利便性を考慮したデータカタログを運用を行うとともに、セキュリティパッチの適用や、県民ニーズに対応したシステム改修等を実施する。 イ 効果的なデータ活用の促進 393千円 個々のデータについて、二次加工しやすいデータ形式とするためのデータ変換を委託する。 (2) 事業計画 ア 平成29年度: システム運用及びデータ活用事例の開拓 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・LOD化推進及びデータ数拡大 ・活用事例の開拓を行う イ 平成30年度: システム運用及びデータ活用事例の開拓 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・LOD化推進のためのデータ変換等の支援を行う ・活用事例の開拓を行う (3) 事業効果 ア 県が保有している多様で膨大な情報を二次利用しやすい電子データの形式で積極的に公開することは、地域経済の活性化や県民生活の利便性向上につながる。 (4) 県民・民間活力、県職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 県内市町村が保有するデータを取り込み公開場所の一元化を図る。 イ 民間データとの組み合わせにより新たな価値を創造する。 (5) 補正予算の概要 ア データカタログ保守費用の執行が見込みを下回ったことに伴う減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	Δ2,270						Δ2,270	3,780	
現計額	6,050						6,050		